

2025年3月期 第1四半期  
決算説明会



**SERENDIP  
HOLDINGS**

---

セレンディップ・ホールディングス株式会社  
証券コード 7318

---

2024年8月28日



# Index

1. 会社及び事業概要
2. 決算概要・業績見通し
3. Q&A
4. Appendix

# 当社のミッション・ビジョン・バリュー

MISSION

私たちが果たすべき使命  
日本の中堅・中小製造業を  
世界に誇れる100年企業へ

VISION

私たちが実現したい未来  
プロ経営者の輩出と、経営の近代化を通じて  
日本のモノづくりに経営革新を

VALUES

私たちが大切にしている価値観  
合理的思考と見える化を共通言語とし  
意思と意欲ある個性を大切にします

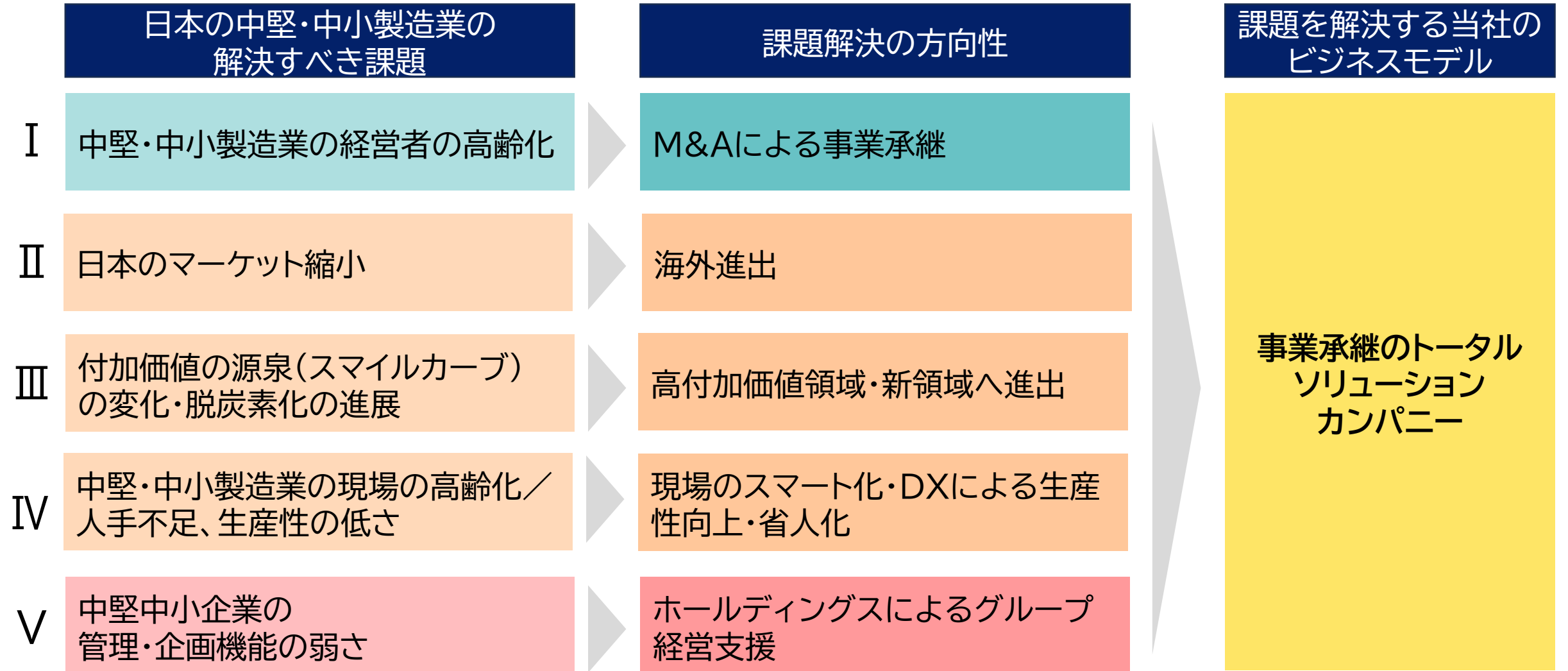


**SERENDIP  
HOLDINGS**

社名の由来となった「Serendipity (セレンディピティ)」とは、素敵な偶然に出会ったり、予想外のものを発見することを意味します。セレンディピティが世界にもたらす可能性を私たちは信じています。

# 解決すべき5つの課題と課題を解決する当社のビジネスモデル

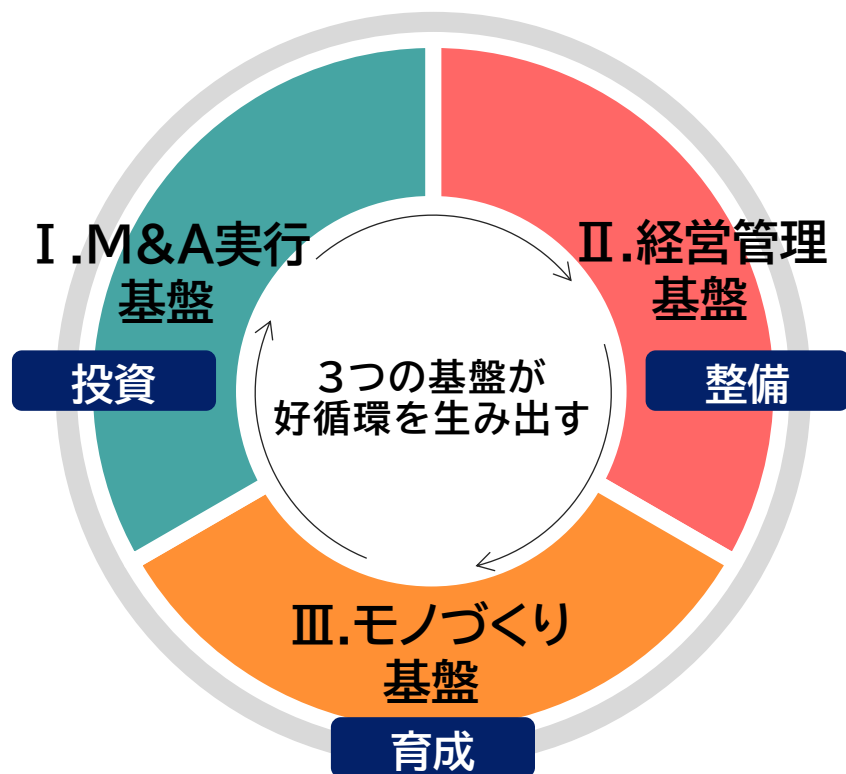
- 当社は、日本の中堅・中小製造業の課題を解決する事業承継のトータルソリューションカンパニー



# 当社の事業承継トータルソリューション

- 当社は日本の中堅・中小企業の課題解決を提供する独自の「モノづくり事業承継プラットフォーム」を構築

## モノづくり事業承継プラットフォーム



## モノづくり事業承継における3つの基盤

- I. M&A実行基盤** **投資**  
M&Aプロセス全体(M&Aチャンネル開拓、M&A戦略立案/実行)の遂行
- II. 経営管理基盤** **整備**  
プロ経営者によるチーム経営、標準化されたマネジメントツール、業務シェアードによるグループ一体となった経営の推進
- III. モノづくり基盤** **育成**  
標準化された改善ノウハウによる製造現場の変革、R&D、グローバル化

# 事業承継のトータルソリューションカンパニーとして3つの事業を展開

## ①モノづくり事業

売上高 185億円  
従業員数 482名

DX(デジタルトランスフォーメーション)とR&D(研究開発)で、中堅・中小製造業の「経営の近代化」を推進

- ・天竜精機 (ファクトリーオートメーション装置製造)
- ・佐藤工業 (オートマ機能部品製造)
- ・三井屋工業 (自動車内外装部品製造)
- ・アベックス (開発段階における試作品製作・デザイン)
- ・レディーバード (業務用美容器開発・製造・販売)※2024年3月グループイン

## ②プロフェッショナル・ソリューション事業

売上高 14億円  
従業員数 147名

プロ経営者やコンサルタント等のプロフェッショナル人材が、中堅・中小製造業が抱える経営課題・技術的課題に対するソリューションを提供

- ・セレンディップ・ホールディングス (プロ経営者派遣、コンサルティング)
- ・セレンディップ・テクノロジーズ (設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発)
- ・セレンディップ・ロボXマーケティング (協働ロボット販売・レンタル)※2024年4月グループイン

## ③インベストメント事業

売上高 2.8億円  
従業員数 10名

中堅・中小企業への投資やフィナンシャル・アドバイザーで、中堅・中小企業の円滑な事業承継と企業価値向上を実現

- ・セレンディップ・フィナンシャルサービス (プリンシパル投資(自己資金投資)、フィナンシャル・アドバイザー、ファンド運営)

(注)売上高:2024年3月期、従業員数:2024年3月末時点



# Index

1. 会社及び事業概要
2. 決算概要・業績見通し
3. Q&A
4. Appendix

# 【2025年3月期 第1四半期】 連結業績サマリ

- 売上高・営業利益・経常利益は、第1四半期で**過去最高を更新**
- 経常利益は、受取配当金及びエネルギー等のコスト増に対応する販売価格の修正等で営業利益より増加
- 当期純利益は、法人税等調整額の正常化に伴い前年同期比では減益

売上高

4,804百万円

前年同期比 **+4.6%**  
前年同期 4,592百万円

営業利益

144百万円

前年同期比 **+20.9%**  
前年同期 119百万円

経常利益

198百万円

前年同期比 **+17.8%**  
前年同期 168百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

105百万円

前年同期比 **-37.0%**  
前年同期 167百万円



# 【2025年3月期 第1四半期】セグメント売上高およびセグメント利益の状況

- 当四半期よりレディーバード(モノづくり事業/企画開発型)の連結開始

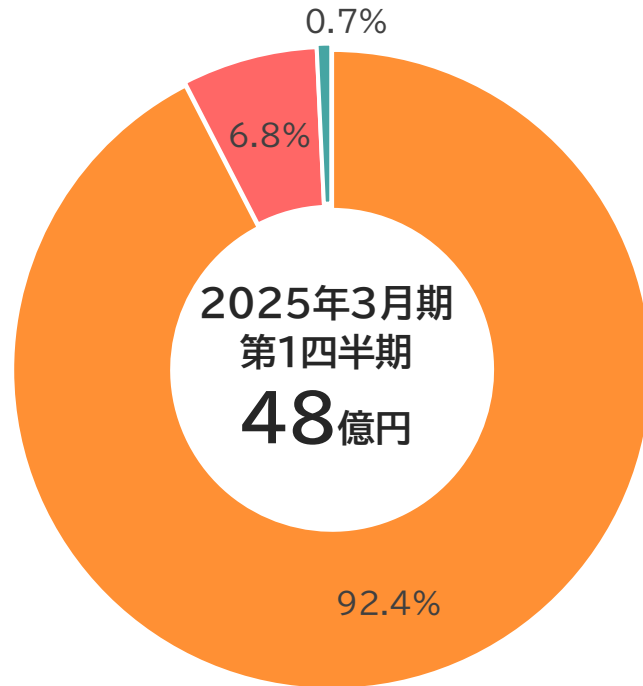
(単位:百万円)	売上高			営業利益		
	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	前年同期比	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	前年同期比
<b>モノづくり事業</b>	<b>4,338</b>	<b>4,440</b>	<b>+2.4%</b>	<b>167</b>	<b>137</b>	<b>-17.7%</b>
オートモーティブサプライヤー	3,568	3,587	+0.5%	170	78	-54.1%
佐藤工業	1,242	1,268	+2.1%	44	-4	-
三井屋工業	2,326	2,318	-0.3%	126	83	-34.1%
企画開発型モノづくり	769	852	+10.8%	-9	78	-
天竜精機	407	233	-42.8%	-7	-43	-
アパックス	362	474	+30.9%	-1	80	-
レディーバード	-	147	-	-	41	-
<b>プロフェッショナル・ソリューション事業</b>	<b>333</b>	<b>461</b>	<b>+38.6%</b>	<b>-44</b>	<b>-8</b>	<b>-</b>
セレンディップ・ホールディングス	198	284	+43.4%	-39	2	-
セレンディップ・テクノロジーズ	172	224	+30.2%	2	16	+700%
<b>インベストメント事業</b>	<b>31</b>	<b>55</b>	<b>+74.5%</b>	<b>-3</b>	<b>14</b>	<b>-</b>
セレンディップ・フィナンシャルサービス	31	55	+74.5%	-3	14	-

(注)個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

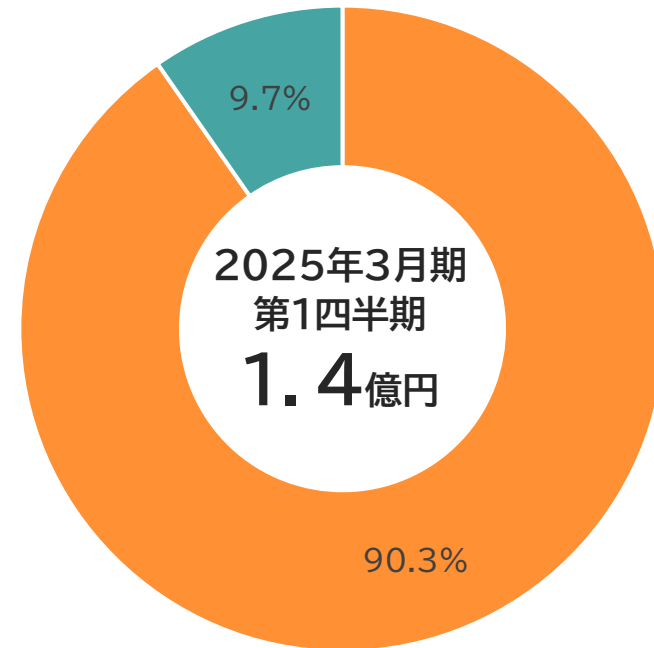
# 事業セグメント別 構成比

- 売上高および営業利益の約9割をモノづくり事業で計上
- 利益率の高いインバストメント事業が、営業利益の約1割を計上
- プロフェッショナルソリューション事業は、M&A関連費用を除けば黒字化

連結売上高



連結営業利益



モノづくり事業

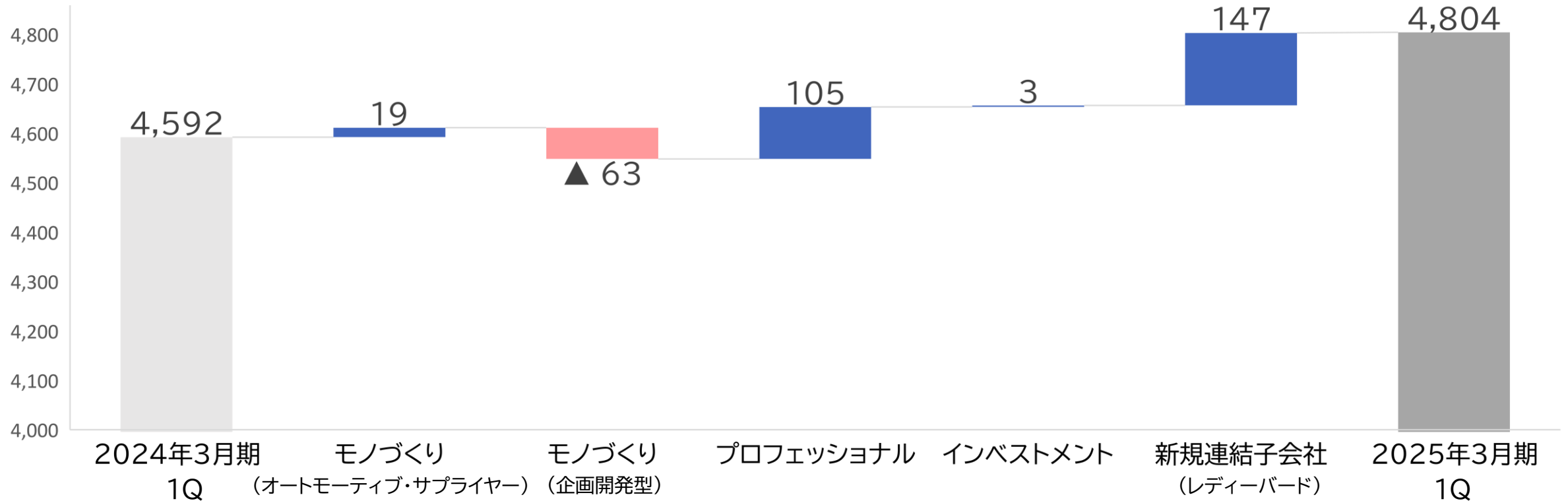
インバストメント事業

プロフェッショナル・ソリューション事業

# 連結売上高増減分析

- モノづくり事業（オートモーティブサプライヤー）：自動車メーカーの国内生産は引き続き高水準で推移
- モノづくり事業（企画開発型）：天竜精機において半導体メーカーの設備投資の変更や延期の影響
- プロフェッショナル・ソリューション事業：人員増強に伴う増収、及び引き続きITコンサルティングサービスへの旺盛な需要により増収
- 当四半期よりレディーバード(モノづくり事業/企画開発型)の連結開始

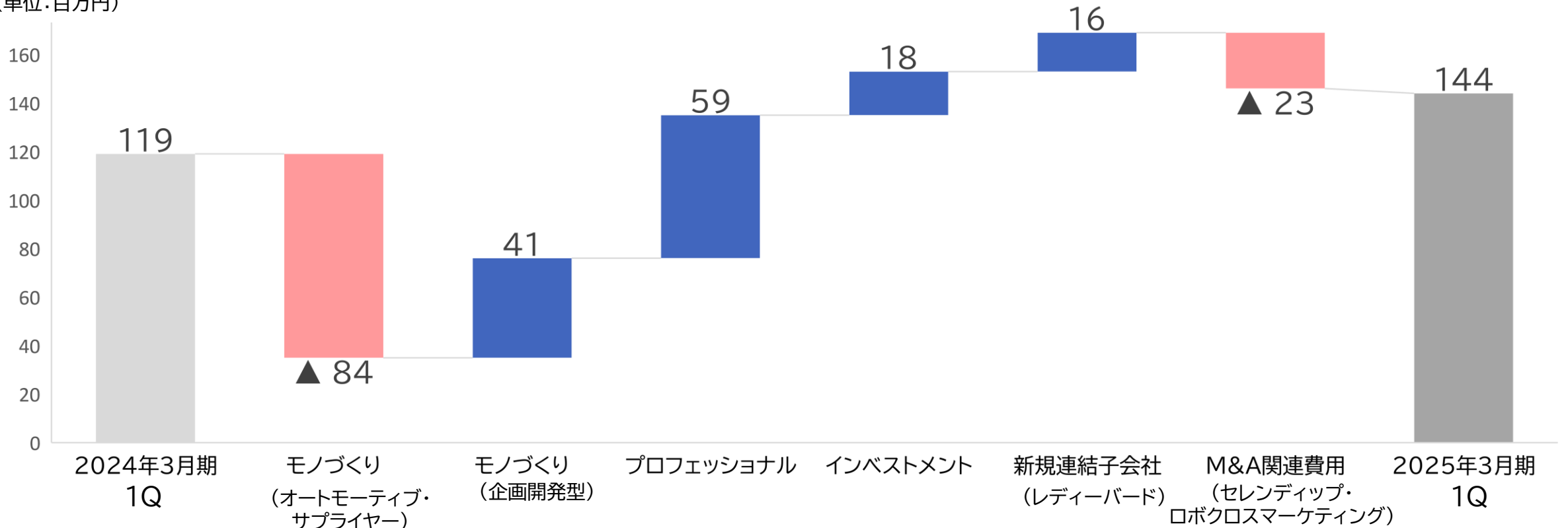
(単位:百万円)



# 連結営業利益増減分析

- モノづくり事業（オートモーティブサプライヤー）：三井屋工業においては人件費計上の平準化により1Qとしてはコスト増、佐藤工業において内製化による一時的なコスト増
- プロフェッショナル・ソリューション事業：増収に伴い大幅な増益
- 当四半期よりレディーバード(モノづくり事業/企画開発型)の連結開始
- セレンディップ・ロボクロスマーケティングのM&Aに関連する費用を当四半期に計上

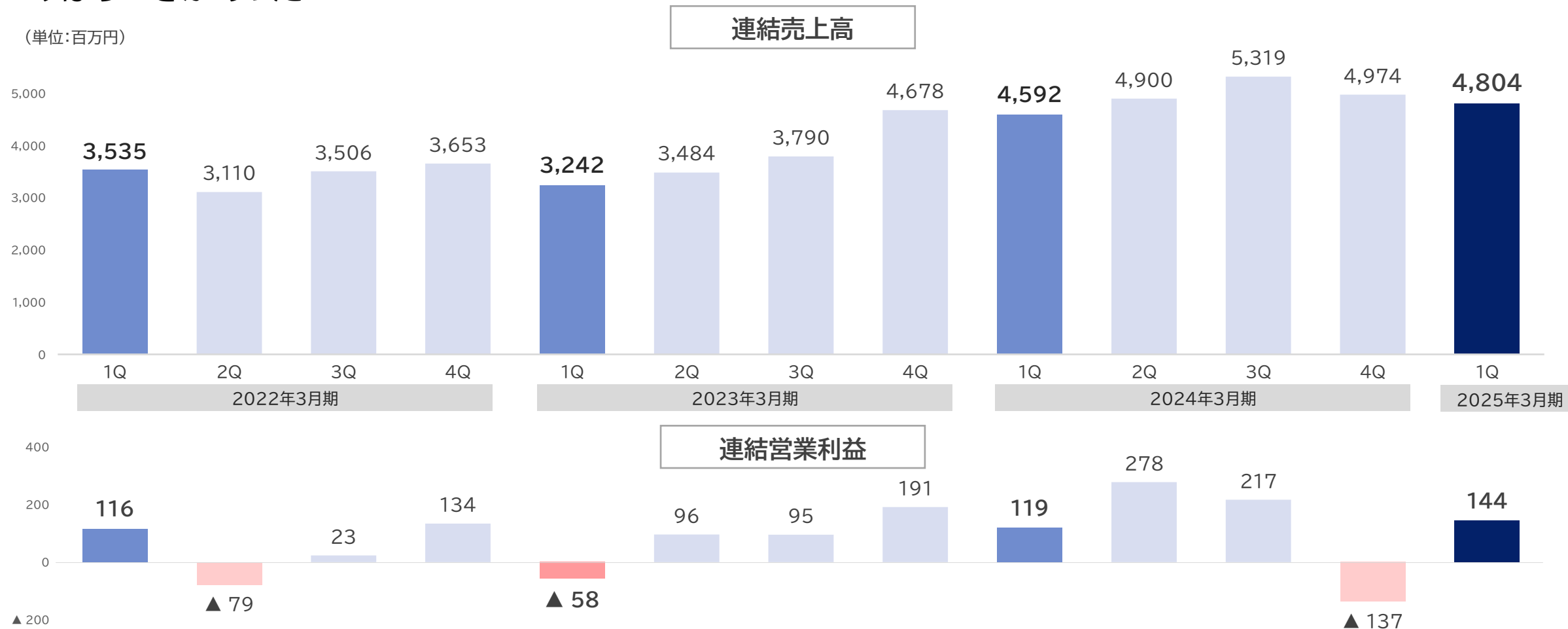
(単位:百万円)



# 四半期連結業績の推移

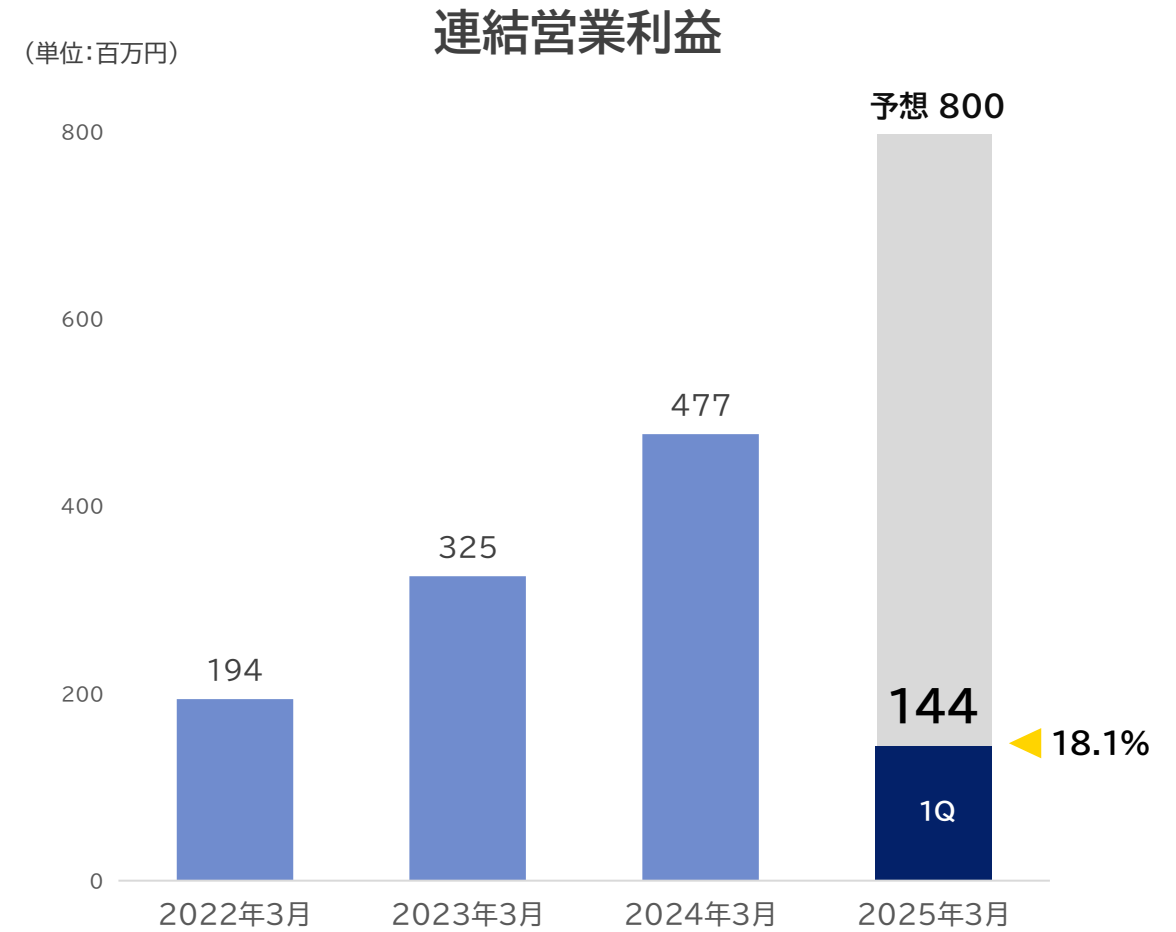
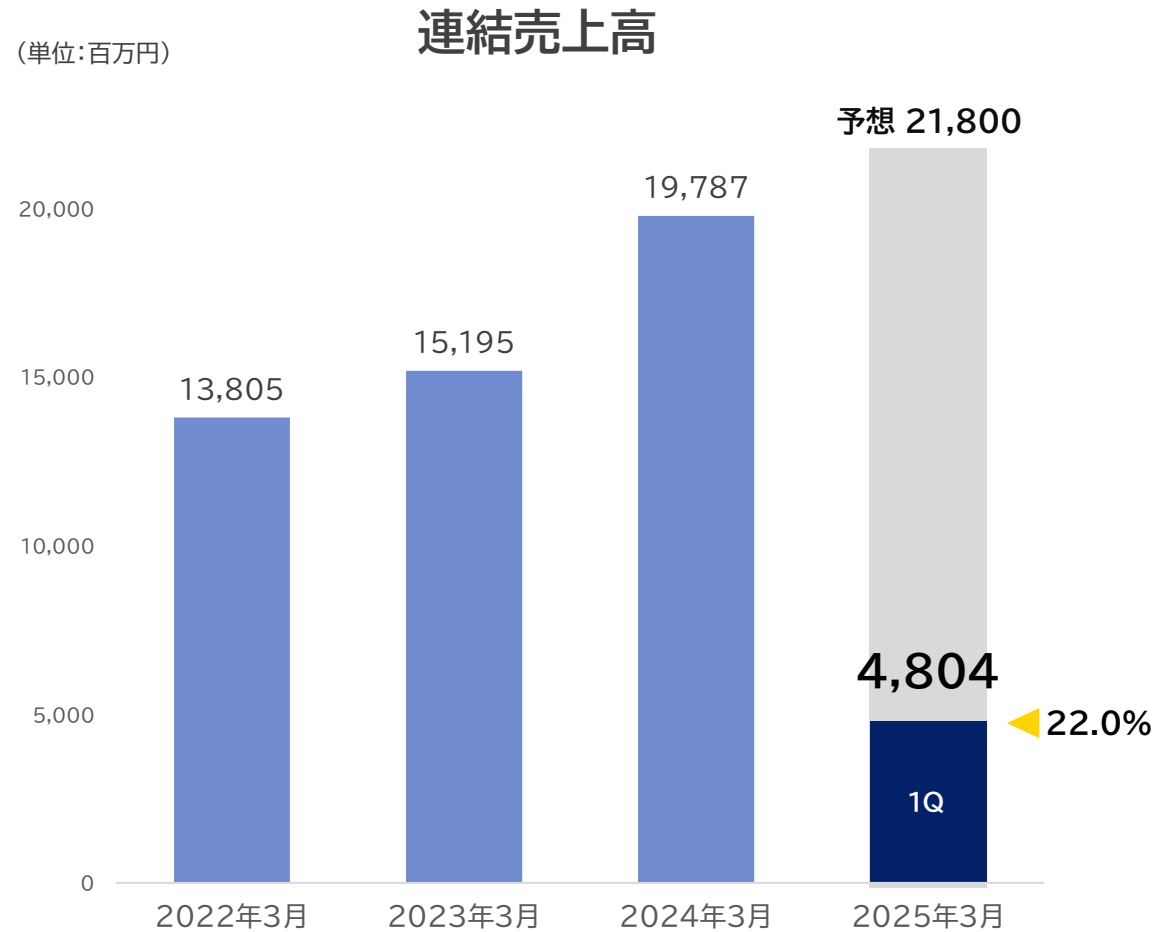
- 売上高・営業利益ともに、第1四半期で**過去最高を更新**
- 四半期売上高は第2四半期、第3四半期と伸びていく傾向
- 四半期営業利益については、コロナ渦の影響で生産が不安定となった影響や、M&Aの費用計上タイミングによりばらつきがあった

(単位:百万円)



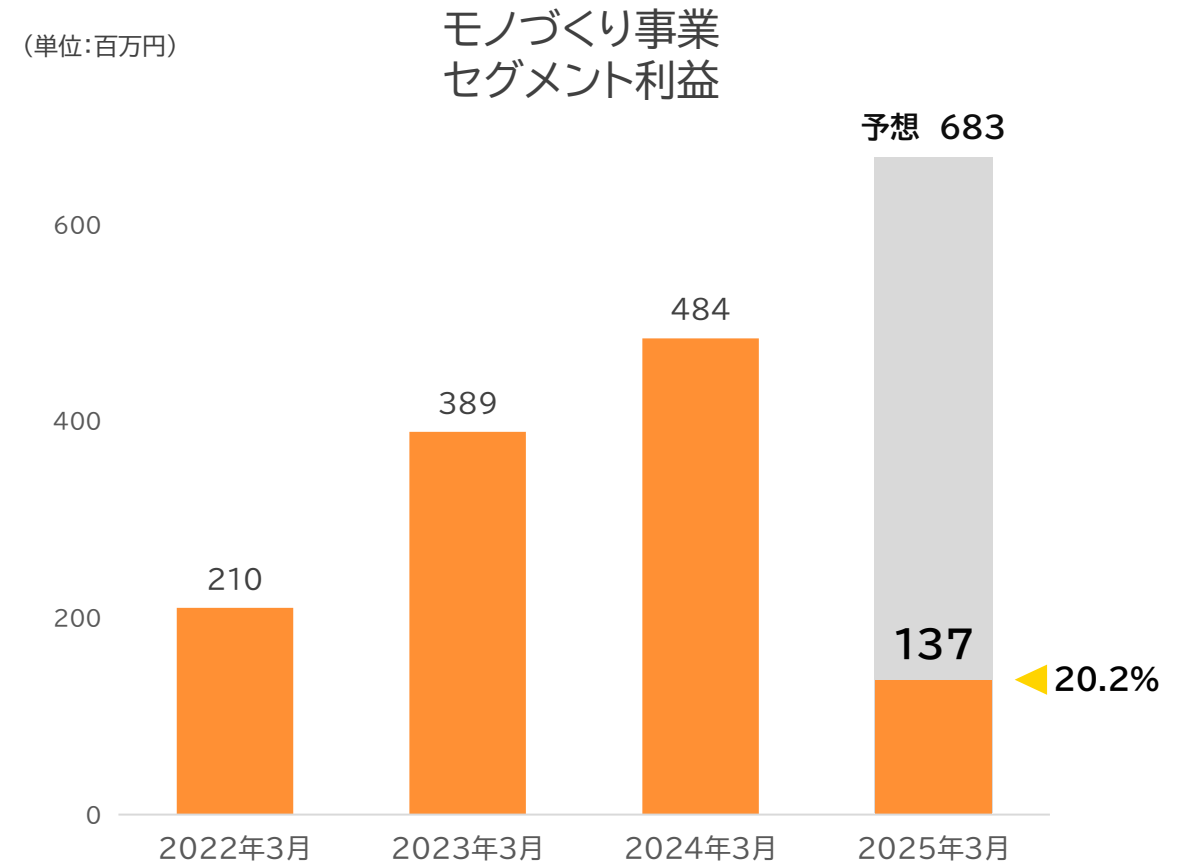
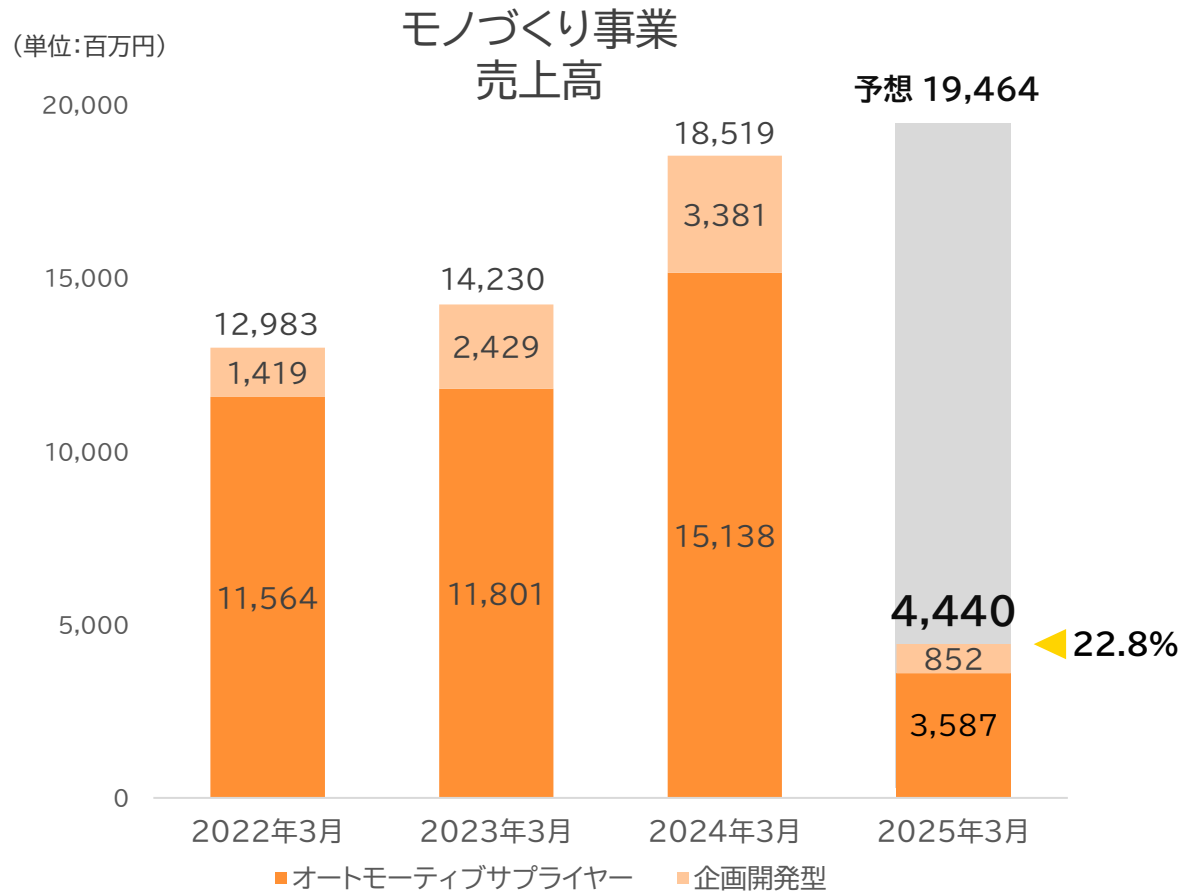
# 連結業績推移および進捗状況

- 売上高、営業利益ともに概ね予算通りの進捗
- 第2四半期以降、RX等のプロフェッショナル・ソリューション事業の伸長を見込む



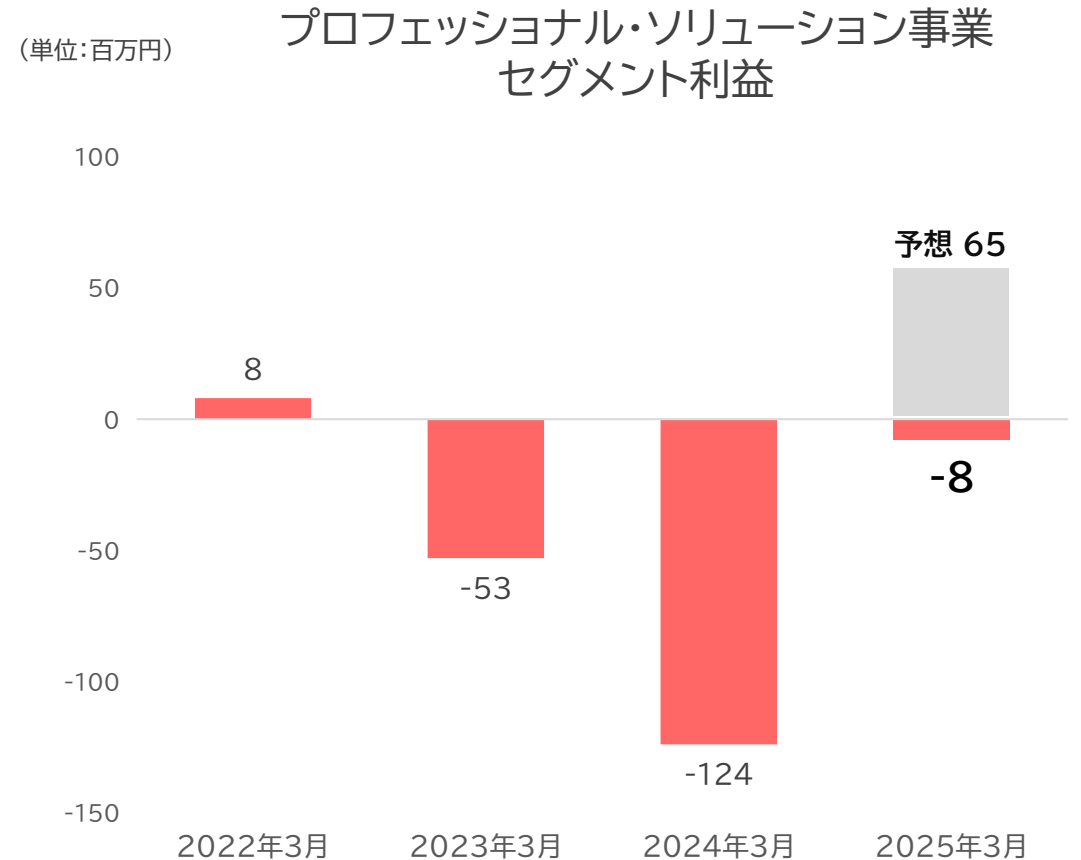
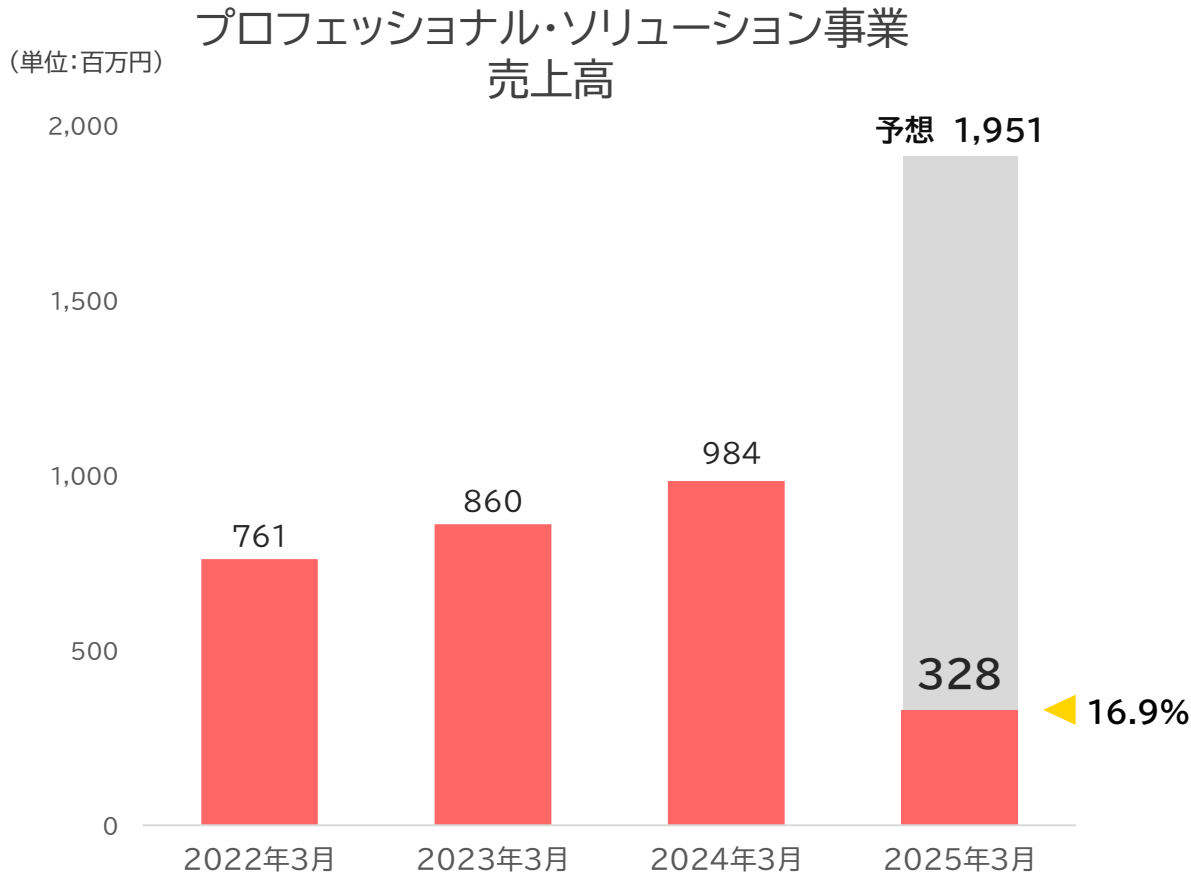
# 【モノづくり事業】業績推移と進捗状況

- オートモーティブサプライヤーでは、自動車メーカー国内生産は高水準で推移しているものの一部車種の生産・出荷停止の影響あり、及び佐藤工業での内製化による一時的なコスト増
- 天竜精機(企画開発型)では、半導体メーカーの設備投資の変更や延期の影響
- アペックス(企画開発型)では、新規顧客の開拓が進み予算を上振れて進捗。上記マイナス要因をカバー



# 【プロフェッショナル・ソリューション事業】業績推移と進捗状況

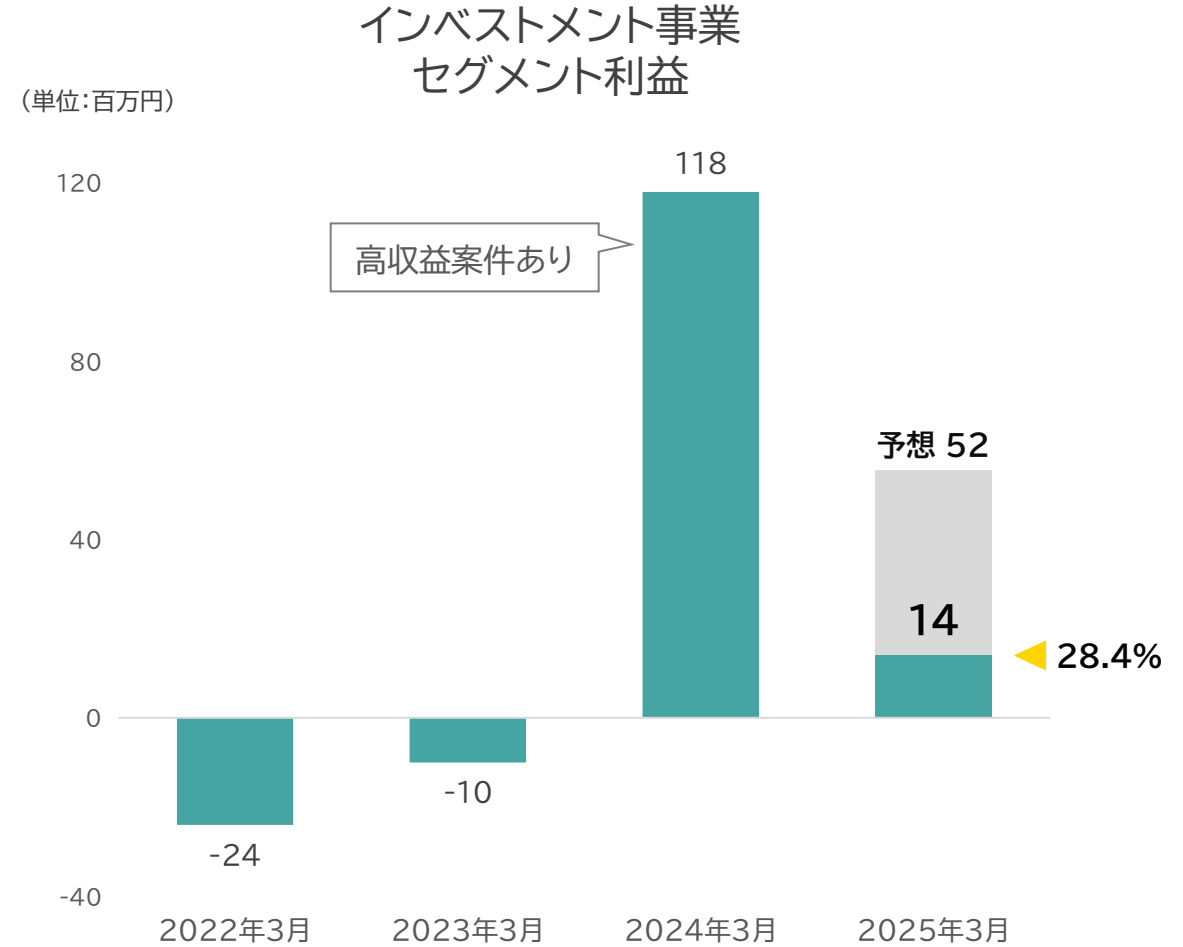
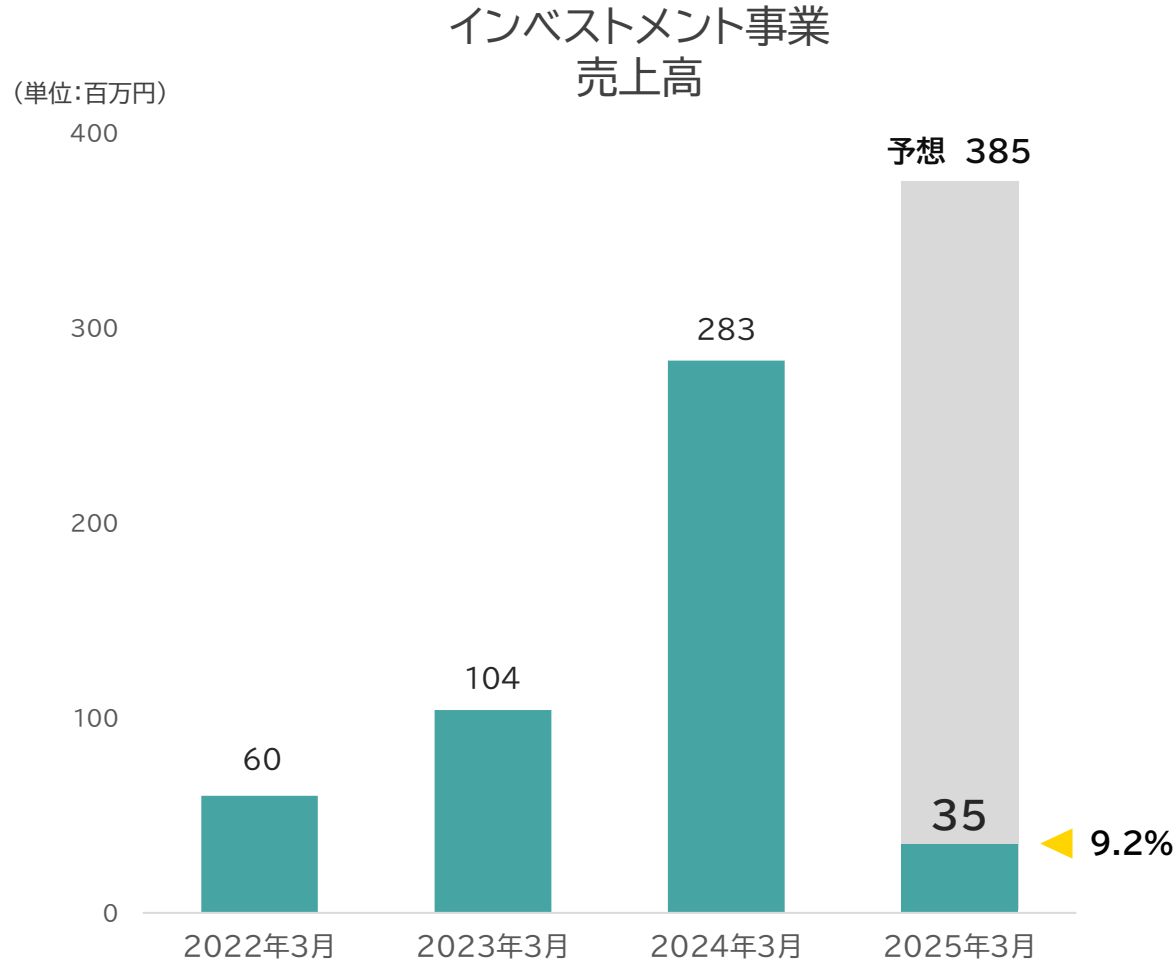
- エンジニア派遣・受託開発(セレンディップ・テクノロジーズ)及び ITコンサルティングでは、人員増強及び旺盛な需要により計画どおり進捗中
- RX(ロボット・トランスフォーメーション)は、第2四半期以降に伸長を見込む
- セレンディップ・ロボクロスマーケティングのM&A関連費用(23百万円)を除くと、セグメント利益で黒字化を達成





# 【インベストメント事業】 業績推移と進捗状況

- 売上高:1Q売上は前年並み。FAパイプラインは順調に積み上がっている
- 利益:コスト抑制し、セグメント利益の進捗は28.4%と好調



# 連結貸借対照表サマリ

- 自己資本比率は0.6pt改善し31.0%

(単位:百万円)	2024年3月期末	2025年3月期1Q	増減額
総資産	20,271	19,226	-1,044
流動資産	9,198	8,532	-666
固定資産	11,073	10,694	-378
負債	14,112	13,248	-863
流動負債	7,590	6,901	-688
固定負債	6,522	6,347	-174
純資産	6,159	5,978	-181
自己資本比率	30.4%	31.0%	+0.6pt

## ものづくりファンド 第2号案件

子会社のセレンディップ・フィナンシャルサービス(株)と SBIグループの新生企業投資(株)が共同運営する「日本ものづくり事業承継基金1号投資事業有限責任組合(ものづくりファンド)」で2件目の投資を実行。

経営面の支援としてセレンディップグループより取締役を派遣。

### 第2号案件 投資先企業の概要

会社名	勝和産業株式会社
本社	福岡県筑後市
事業内容	プラスチック製品の成型および販売

### ものづくりファンドの概要

ファンド規模	56.7億円
投資対象	国内の中小ものづくり企業 中小企業の事業承継課題の解決や、生産性向上、地域経済発展を目指して設立
LP	独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社 SBI 新生銀行、株式会社名古屋銀行、株式会社足利銀行、株式会社愛知銀行、株式会社中京銀行、株式会社大垣共立銀行、株式会社三十三銀行

## 東京オフィス開設

セレンディップHD初の関東拠点となる東京オフィスを7月1日、品川区大崎にオープン。セレンディップグループが関東圏でのビジネスを強化・推進していくための重要拠点。



1. 営業活動を強化し、関東マーケットへ本格的に進出
2. 事業規模拡大のために関東での採用を強化
3. グループ会社とのオフィス共有によりグループ連携を強化

# Contact Us



<https://www.serendip-c.com/>



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11  
名古屋伊藤忠ビル



# Disclaimer

## 本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。